

10月のリフレクションシートから

花の形を制御する遺伝子があると考えたことがなかった。花に焦点を向けてもこんなにも興味深いのかと驚いた。実験にシロイヌナズナを選んだ理由に、なるほどと思った。ABCモデルについても詳しく知ることができ、SEP 遺伝子と MADs-box という転写因子が関わりながら花の形作りを決めていることも分かった。動画を見て、あんな風に動いているのかと思った。



詩人であるゲーテはすごい人だと感じた。よく「花は葉の変形だ」と考えたなど。自分は気になったことがなく、そういう考えを出来るように余裕と知識をもって色んなことに興味をもって過ごしていこうと思った。

ツリフネソウの花の形は、マルバナハチが利用しやすい形になっているが、これは偶然なのか？マルバナハチが花に合わせて進化したのか、花が変わったのかどちらかなのか？はたまた、違うものなのか…。

花の形を制御する遺伝子について

驚いたことはウイルスの大きさ。学校の授業などでも学んでいたのだから小さいことは分かっていたが、人間と比べるとこれほど差があるのかがイメージしやすかった（ウイルスを 1m とするとヒトは東京-福岡間 1,700km にもなる）。

また、温度の上げ下げだけで反応が進むことを初めて知った。特別な薬品をいくつも組み合わせて行うなど複雑な構造なのではないかと予想していたので、新しい知識を得ることができて嬉しかった。

ノロウイルスの話で「次の日には治った」「変異しやすい」ということを伺い、わざとウイルスを人体にとって無力化させることができるワクチンや薬があるのか疑問に思った。また、ジェミニウイルスは冬にリセットされるはずだが、常夏であるインドネシアではリセットされにくいと聞き、現地では実際にどのような対応がとられているのかも疑問に思った。

植物ウイルスとワクチン開発

宇都宮大学バーチャルオープンキャンパス

今年度の宇都宮大学のオープンキャンパスはオンラインで行われています。トップページには iP-U の出口明子先生（共同教育学部）の動画もあります。ぜひご覧ください。

農学部 オンデマンドコンテンツを 11 月末迄公開中

工学部 オンライン個別相談会 & 学部説明会：11 月 14 日

共同教育学部 ○オンライン模擬授業

11 月 6・8・11 日

○分野別相談会

11 月 14 日

国際学部・地域デザイン学部 Youtube 公開中



オープンキャンパス HP → <https://admission.utsunomiya.ac.jp/virtual/>

編集後記

島津製作所 + 東北大チームが呼気の分析によってコロナ感染診断できるシステムを開発したと最新のニュース。呼気の中にコロナ感染の証拠となる分子があり、それを質量分析法で調べるのですね。前号のワンちゃん、イケそうですね。(大)

